

Monthly Times



和歌山県立
串本古座高等学校串本校舎
平成 26年(2014年)12月号

進路だより (進路状況(就職・公務員)の紹介)

就職・公務員ともに堅調

今年度、就職・公務員ともに堅調を維持しています。就職については、普段からの指導や県内外の企業開拓、生徒の踏ん張り等があり、24名の内定を得ています。公務員については、4名の合格があり、昨年に引き続き好成績を残しました。

◆就職：県内・県外あわせて24名内定

○〈県内：9名〉紀陽銀行、串本水産、串本マリノファーム(2)、潮岬製作所、潮岬病院、紀の誉食品(2)、とれとれ市場南紀白浜
○〈県外：15名〉トヨタ自動車(株)、JR西日本、きんでん、コスモ石油、山崎製パン、フジパン、伊藤園、錦秀会病院(介護)、美スギ、合同製鐵、水谷建設、にし屋、汐屋(2)、プランタン工房

◆公務員：合格者数4名!

◆公務員：串本町役場(1)、和歌山県警察(1)、自衛隊(一般曹候補生2)

※のべ人数で表示。()内の数字は人数。平成26年12月2日現在。

芸術鑑賞 「コンサート」

「芸術はそれ自身目的ではない。人間を表現するための手段である。」

△ソルゲスキー(露：1839-1881：作曲家)

11/21(金)
串本町文化センターにおいて、クリアランスによる「コンサート」を串本・古座両校舎生徒が鑑賞しました。クリアランスのメンバーはアカペラヴォーカルグループで、関西を中心に全国で活動を展開しています。ボーパ体験(ボーパニボイスパーカッション=打楽器の奏でる音色を、そっくりそのまま口で表現する技術)では男子2人、女子1人の3人の生徒のみんながチャレンジしました。3人とも、しっかりと、よい音を出し、会場が盛り上がりました。



ボーパにチャレンジ

ボーパ体験(ボーパニボイスパーカッション=打楽器の奏でる音色を、そっくりそのまま口で表現する技術)では男子2人、女子1人の3人の生徒のみんながチャレンジしました。3人とも、しっかりと、よい音を出し、会場が盛り上がりました。

冬季球技大会〈冬に鍛える〉

12/22(月)、恒例の球技大会が開催されました。種目は男子がサッカー・卓球(ダブルス)、女子はバレーボール、卓球(ダブルス)、バドミントン(ダブルス)が行われました。大会スローガン『あきらめない~We'll go to the limit!~』と同様、寒さを吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。各競技の結果は次のとおりです。皆さんお疲れ様でした。

	1位	2位	3位
サッカー(男)	3C	3A	2C
卓球(男)	直井・今津(2C)	山田・高柳(3C)	塩地・青古(3B)
バレー(女)	1D	3D	3B
卓球(女)	前地・村上(3D)	村上・山田(2C)	松並・山路(3D)
バドミントン(女)	中山・濱口(3C)	濱・山口(2B)	小川・新宅(3C)



和歌山大学 大学説明会開催

10/31(金)16:00～視聴覚教室において和歌山大学についての進学説明会が行われました。当日は、保護者・生徒合わせて18名の参加があり、国公立大学の入試についての説明とあわせ、和歌山大学についての丁寧な説明を受けました。全体会の後、個別の質問コーナーもあり、みんな熱心に聞いていました。



人権教室開催

12/11(木)、「デートDVって何？」というタイトルで人権教室を開催しました。デートDVとは、交際中の若いカップルの間で起こる暴力のことです。「配偶者・恋人からの暴力」であるドメスティック・バイオレンス(DV)が最近、10代、20代の若いカップルの間でも起こり問題になっています。「デートDV」と呼ばれるこれらの暴力は将来、深刻な夫婦間のDVにつながる可能性も高く、防止策が急がれています。



短歌紹介コーナー

◆シナモンの香りの古い本ひらく草かんむりの訪問者たち (作者:東 直子)

◇シナモンの香り

…古本を開いた時に感じる独特の香り。その香りの中に幼少期の記憶や懐かしさがわき上がってくるように思います。作者はその香りをシナモンにたとえています。ことばをすくい取る感覚とセンスには驚かされます。

◇草かんむりのつく訪問者たち

…花、草、苺、菊、夢など、ことばを覚えてたの子ども達にとって、本の中は、ストーリーもさるながら、面白いことばや文字の玉手箱のようなものです。ページを開く時のドキドキ感やワクワク感が「草かんむりの訪問者たち」という言葉から連想されます。ちなみに、私の友人は、「これって、植物図鑑を眺めているときの感想ですかねえ」とコメントを述べたりもしています。

1月行事予定

- 5(月)・6(火) = 3年K-パック模試
- 7(水) = 1. 2年K-パック模試
- 5(月)~7(水) = 冬季進学補習
- 8(木) = 始業式・身だしなみ指導
- 9(金) = 1. 2年基礎力診断テスト
- 12(月) = 成人の日(祝日)
- 15(水) = 3年学年末考査発表・センター試験壮行会
= 交通指導
- 17(土)・18(日) = センター試験
- 18(日) = 情報処理検定
- 19(月) = センター試験自己採点
= ビジネスマナー講習会(就職内定者)
- 22(木)~28(水) = 3年学年末考査
- 24(土) = 1. 2年進学模試・英語検定
- 25(日) = 簿記実務検定

〈新企画：若手教員を育てる②〉

若手教職員を育てる、ということで、前回からスタートした企画も第2回目を迎えます。今回は、初任の保健体育科・杉若裕介先生 の原稿です。

◇理想の教師像を目指して ～人との出会いが大切～

私が串本に初めて足を運んだのは20歳の頃です。高校を卒業してから進学した学校のダイビング研修で訪れました。その時の印象は、「海がキレイ!」「食べ物



旅先で出会ったイスラエルの人たち

が美味しい!」特に晩ご飯に出てきた飛び魚の刺身には、ほったが落ちるほど美味しかったのを覚えています。当時、勉強で忙しい中でのダイビング研修でしたが、串本での研修中は自然に癒され、またこれから頑張っているという勇気がわいてきました。その思い出の地にある串本古座高等学校で生徒の皆さんと共に日々学んでいることを幸せに感じています。さて、タイトルに「理想の教師像を目指して」と記しているように私は日々、教師としてだけでなく、一人の社会人として、生徒のよきモデルになりたいと思っています。よきモデルになるために私は、まず私自身が多くの人と出会い、会話し、人のよいところをたくさん取り入れて自分の成長の糧にしなければなりません。学生時代にはボランティア活動に参加し、色々な体験や文化に触れたいという思いからアルバイトで貯めたお金で旅行にも積極的に行きました。特に海外旅行では驚くような体験をしました。世界一周旅行の旅に出会った友人の話ですが、例えば、南米などに行き買物やタクシーに乗って料金を払う時は、おつりをきちんと確認した方がいいよ、ということです。日本ではきちんとおつりが返ってくるのが当たり前ですが、海外のある地域ではごまかされる可能性が高いということです。また、友人がブラジルでタクシーに乗った時の話も衝撃でした。夜タクシーに乗ったら、信号が赤でもまったく止まらない。「何で止まらないんだ、危ないじゃないか」と友人が怒ると、「止まると強盗に遭う可能性がある。そっちの方が危ない」という。このような話がある一方、多くの海外の人々は非常に親切で丁寧な人が多いということです。

私も生まれてまずは家族など身近な人の影響を受け、小学校、中学校、高校、大学と気が合う友人、自然と自分の周りに集まってくれる居心地のいい人たちと生活していく中で楽しい人生も送ることが出来たし、多くのことを学ぶことが出来ました。

しかし、世の中に出たらどうでしょう?気の合う人や、いい人ばかりではありません。相手に対して非常識な人だと感じることや、自分にとってどうしてこの人はこんなに厳しいんだろうとか、考え方や意見が合わずストレスに感じてしまう相手も、やはり世の中には存在します。

ところが視点を改めてみると、自分はこの人のおかげで耐える力や生きる力を学んでいるのではないかと、自分もこの人に受け入れられるにはどうすればいいんだろうか、という風に自分の成長につなげるようにしています。私は毎日接している周りにいる人が自分にとってどういう人なのかを考え、また、これから先、将来出会うべくして出会う人々を一つ一つ大切にしていって自分の成長に繋(つな)ぎつけていこうと意識しています。

皆さんもチャンスがあれば是非、日本のあちらこちら、そして海外に足を運んで自分の成長につながる体験や人との出会いのきっかけを作ってみてください。